

取組全体の目的・概要

地域コミュニティ活動に、地域栄養ケア・アセスメント支援を融合させることより、沿岸生活者の心身のケアをすすめ、高血圧、糖尿病、脂質代謝異常等の生活習慣病の積極的予防と改善、さらには、移転した地域に住み慣れ、自らの行動による地域包括を目的とした健康づくりの自立再生をめざす。

取組の効果・特徴

- ① 地域住民との強いネットワークがある(顔なじみ)
- ② 市町村からの信頼があつい(ノウハウを熟知)
- ③ 指導スキルが高い(マネジメント能力高い)
- ④ 「食生活」は住民の関心が高い(食事介入が受け入れられやすい)



前年度の取組の成果

1 被災された方への栄養・食生活支援サポート

① 沿岸生活者健康応援スクール

対象地区/宮古市、大槌町、釜石市、大船渡市

集会指導 4地区23回 375人

個別巡回指導 28回 236人

沿岸生活者支援は、目標の127.3%

② 内陸移住生活者健康応援スクール

対象地区/盛岡市、奥州市

集会指導 2地区 6回 100人

内陸移住生活者支援は、目標の83.3%

2 “おひとりお達者”料理レシピの作成

3分でできる電レンジ料理レシピ9,000枚

低体重予防

3 被災体験者との意見交換シンポジウム

被災地見学(遠野市、大槌町2カ所)

意見交換シンポジウム 県民参加者89人

風化対策

- 1 被災者が欲しい食生活情報を具体的に伝えることができた。
- 2 栄養士からのアセスメントが好評で、心身のケアにつながっている。
- 3 大船渡市が単独事業予算を確保し、自立できた。

30年度事業計画

- 1 沿岸生活者健康応援スクール
対象地区/宮古市、大槌町、釜石市、山田町
- 2 内陸移住者健康応援スクール
対象地区/盛岡市、奥州市、遠野市
- 3 「被災者意見交換シンポジウム」風化させない!!
- 4 被災者栄養相談コーナーを設置
盛岡市復興支援センター内 月2回



男の料理教室



栄養相談コーナー



住み慣れた地域で安心して暮らせる社会